

JELA NEWS

ジェラニュース 第60号

2023年4月15日 発行

発行責任者 渡辺 薫

一般財団法人 JELA 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26 TEL.03-3447-1521 FAX.03-3447-1523 jela@jela.or.jp www.jela.or.jp

難民支援事業 / 世界の子ども支援事業 / 奉仕者育成事業 / 緊急災害支援事業

私たちは、キリストの愛をもって、日本と世界の助けを必要とする人びとに仕えます

お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。(マタイによる福音書25章35～36、40節)



難民奨学生が一同に会する「難民奨学生のつどい」開催！

CONTENTS	奉仕者育成	3年ぶりに「JELA カンボジア・ワークキャンプ」を開催！ 大学生・社会人ら10名が参加 (P2) / 大好評の国内ワークキャンプ「English Bible & Work Camp」を今年も開催!!(P3) / キャロル・サック宣教師「詩編との出会い」を配信中 全国から喜びの声 (P7)
	世界の子ども支援	パナソニック様からカンボジア支援のために540台のソーラーランタン寄贈していただきました (P4) / カンボジアへ「手作りマスク」1500枚超 直接お届けしました (P4)
	難民支援	特集：難民支援奨学金～RVEP奨学生ナクワンさん寄稿文、「難民奨学生のつどい」開催、奨学生募集のご案内 (P6) / 板橋 JELAハウス 新しい管理人を迎えて再開しました! (P7)
	その他の記事	2022年度 寄付金のご報告と御礼 (P8) / 支援者一覧 (P8) / 編集後記 (P8)

3年ぶりに「JELAカンボジア・ワークキャンプ」を開催！ 大学生・社会人ら10名が参加



2020年2月以来3年ぶりとなる「JELAカンボジア・ワークキャンプ」が2023年2月13日～23日の11日間の日程で開催されました。JELAカンボジア・ワークキャンプは、JELAが2007年から主催する海外派遣型ワークキャンプです。主に18歳以上の青年を対象に、JELAの事業パートナーであるカンボジアの非営利団体Life With Dignity (LWD) や、カンボジアルーテル教会 (Lutheran Church in Cambodia = LCC) への訪問、それらが支援・運営する学校や社会福祉施設でのボランティアワーク、カンボジアの歴史的名所を巡るスタディツアーなどを行っています。3年ぶりの開催とあって、募集にあたっては、申し込み締切日を待たずして募集定員が埋まってしまうほどの大きな反響がありました。全国から多様な年齢層が参加し、初めて外国を訪れる方、クリスチャンの方、初めて聖書の御言葉に触れたという方など、年代も背景も異なる10名の方々が一同に会するキャンプとなりました。

今年のキャンプは主に3つのことを目的に企画・運営がなされました。1つ目はボランティアワークを通して「人や社会に仕える」ことを経験していただくことです。今回はカンボジア

南東部のスヴァイリエン州で2022年にJELAの支援によって建てられた2つのプレスクールと、首都プノンペンから50kmほど北に位置するLCCの社会福祉施設「Tang Krang Community」を訪見し、それぞれの施設の壁の塗装をしたり、日本の風景や聖書のイラストを壁に描いたり、建物や子どもたちを野生の動物などから守る竹製のフェンスを作ったりするなどのボランティアワークを行いました。



フェンス作りに勤しむキャンパー

2つ目の目的は、カンボジアの史跡を訪見する「スタディツアー」を通して、カンボジアの歴史や価値観を学んでいただくことです。カンボジアには世界遺産としても大変有名なアンコールワット遺跡群や、1970年代のポル・ポト率いるクメール・ルージュによる大量虐殺やその後の内戦時代の爪痕が色濃く残る歴史的な場所が多くあ

ります。この「スタディツアー」の経験を通して、参加者一人一人がカンボジアという国の歴史やその根底にある様々な考えや文化を自分につながるものとして受け止め、学ぶ機会を持ちました。

そして、3つ目の目的は、カンボジアでの様々な経験を日々の聖書の学びを通して振り返り、それぞれが聖書の神様と出会っていただくことです。今回は、キャンプチャプレンとして日本福音ルーテル教会の多田哲牧師が同行してくださり、参加者がカンボジアという国がもつ多様な宗教観や価値観、そこでの体験を振り返る時に、それらを聖書を通して神様の視点から捉え直せるような「ディボーション」の時間を毎晩リードしていただきました。

次号ではキャンプ参加者全員の感想レポートの抜粋を掲載予定ですが、JELAニュースブログでは全員のレポート全文を掲載しています。ぜひご覧ください！



ブログへのアクセスは
こちらのQRコード
またはJELAウェブサイトから！

今年も開催！！ 大好評の国内ワークキャンプ 「English Bible & Work Camp」募集開始

今年も、栃木県那須塩原市にある農村指導者養成専門学校「アジア学院 (ARI)」を会場に、中学生・高校生を対象とした国内ワークキャンプを開催します！ 各国から集う留学生と共に英語環境下で共同生活をし、農作業で共に汗を流し、そして同年代の仲間と聖書を学ぶ、そんな1週間の夏キャンプに参加してみませんか？ 今年のお申し込みは先着順となっておりますので、ご興味がある方はぜひお早めに！

昨年の参加者の感想レポートや
キャンプの詳しい内容については
こちらのQRコードから！



English Bible & Work Camp 2023 募集要項

- 【日程】2023年7月30日(日)～8月5日(土) 6泊7日
- 【場所】学校法人アジア学院 アジア農村指導者養成専門学校 (栃木県那須塩原市槻沢442-1)
- 【対象】中学生・高校生 (健康に自信のある方。炎天下の農作業があります)
- 【募集人数】10名 (先着順。最少催行人数5名)
- 【テーマ】「創世記 一神さまの秩序」
- 【内容】本キャンプでは、アジア学院の「コミュニティ・奉仕・食」という価値観と「共に生きるために」というモットーの下、有機農業体験や食に根ざした自給自足の生活体験をしていただきます。同学院には世界の様々な国や地域から来た留学生が在籍しており、講義や実習、学内での共同生活などが英語で行われています。JELAスタッフが最低限の日本語通訳をしますが、参加者が自身の英語力をもって留学生との交流や各プログラムに積極的に取り組む姿勢が求められます。さらに、アジア学院での生活を通して身をもって感じ、見つけたことを、聖書の文脈で考えていただけるような「バイブルスタディ」を毎日のプログラムとして行います。

- 【参加費】50,000円
 - ※1 「友だち割引」あり。2名以上の申込みで1人あたり5,000円割引します。
 - ※2 ボランティア保険料と集合場所 (JR那須塩原駅) までの交通費については、上記の参加費とは別に個人負担していただきます。

- 【集合場所】JR那須塩原駅に現地集合。
- 【申込方法】JELAホームページ記載の「申込書」をダウンロードして、必要事項を記入の上、JELA事務局までご郵送ください。
- 【申込締切】2023年6月15日(木) 必着 (6月末日までに参加の可否をお知らせします)
- 【お問い合わせ】〒150-0013東京都渋谷区恵比寿1-20-26
JELAワークキャンプ係
Tel: 03-3447-1521 Email: jela@jela.or.jp

■ 説明会について

申し込み締め切り後、参加が確定した方々を対象に7月上旬にオンラインで実施する予定です。詳しい日時は参加者と日程調整の上、決定いたします。他の参加者やスタッフとの顔合わせやオリエンテーションなどを行いますので、参加者は必ずこの参加者説明会に参加してください。

■ 参加にあたっての注意事項

- (A) 行程・プログラムは、会場の受け入れ状況、社会情勢、天候、その他の都合により変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- (B) 万一の怪我、病気、不慮の災害・事故に備えて、参加者は社会福祉法人 東京都社会福祉協議会が運営する「ボランティア保険」に加入していただきます。その際の保険料 (昨年は600円) は参加費とは別に負担していただきます。
- (C) 感染症予防対策を講じての実施となります。JELA・ARIスタッフがキャンプ参加者の発熱・体調不良を確認し、キャンプへの参加が難しいと判断した場合は、途中で医療機関や自宅等への移動をお願いします。また、キャンプ開始以降に参加を中止した場合は、いかなる理由であっても参加費の返金はいたしません。ご了承ください。
- (D) 各種予防接種に関しては個人の判断と責任のもと行ってください。

■ 守っていただくこと

- (A) 期間中、協調性を持って同行スタッフの指示に従い、行動、健康に関して自己管理してください。
- (B) 参加費用は、JELA広報に協力することでの特別価格となっています。JELAの広報活動 (「JELA NEWS」「JELAホームページ」「JELA NEWSブログ」「SNS (Facebook、Twitter、Instagram)」) に感想文やキャンプ写真などを掲載します。キャンプ参加後5年経過した場合に限り、しかるべき理由がある方は申し出により名前の変更が可能です。キャンプから帰宅後10日以内に報告書をWord等で作成の上、メールでJELAに提出してください。

パナソニック ホールディングス様からカンボジア支援のために 540台のソーラーランタンを寄贈していただきました

パナソニック ホールディングス株式会社様からJELAのカンボジア子ども支援のために、540台のソーラーランタンを無償でご寄贈いただきました。

いただいたソーラーランタンは、JELAの事業パートナーであるカンボジアのNGO「Life With Dignity」(LWD)を通じて、3月にプルサット州とコンボンスプー州の貧困地域の家庭に届けられました。

現在、パナソニック様は無電化地域の未来を照らすプロジェクト



パナソニックのソーラーランタン

「LIGHT UP THE FUTURE」を通じて、貧困をなくすことを目的としたCSR活動を行なっています。JELAもこの活動に賛同してオフィスに募金活

動「みんなで”AKARI”アクション」のリサイクルBOXを設置し、皆さまから不要となった本・CD・DVDなどを寄付いただいています。

JELAはパナソニック様と共にカンボジアへのソーラーランタンの寄贈や同国の貧困解消に努めています。これからも、特にソーラーランタンが子どもたちの夜間の勉強に役立ち、それが貧困から抜け出す契機となることを願い、現地パートナーと協力しながら支援を続けていきます。

カンボジアへ「手作りマスク」1500枚超 直接お届けしました

コロナ禍にあって、JELAの手作りマスクの支援呼びかけに全国から多くの方がご協力くださり、計3,387枚のマスクのご寄付をいただきました。これまでに、ガーナ、インド、カンボジアの子どもたちにマスクを届けることができました。今回のカンボジア・



▲LWDにて

ワークキャンプ(本紙P2)では、皆さまにご寄付いただいた手作りマスク1,500枚超をキャンプ参加者とJELAスタッフが持参して現地に直接お届けしました。

ワークキャンプでは、3月15日に、JELAを代表してキャンプ引率責任者の星崎ポール職員がLWDのソフィアアップ・スオン事務局長に1,125枚の

手作りマスクを手渡しました。LWDにお届けしたマスクの一部は、キャンプ参加者らの手でスヴァイリエン州 Tbaeng Schoolの子どもたちに配布しました。

その他、3月17日にはJELAの森一樹職員が、首都プノンペンから南に30kmほど行ったところにあるKandal村のカンボジアルーテル教会(LCC)のコミュニティー・センターに200枚、翌18日には首都プノンペンから北に50kmほど行ったところにあるLCCの「Tang Krang Community Center」(タンク・クラング・コミュニティーセンター)に200枚の手作りマスクを村の人々に手渡しました。村の人々からは、感染症予防以外にも、排気ガスや粉塵を避けるた

めに手作りマスクが欲しいとのリクエストもありました。手作りマスクは洗って何度も使えるので、使い捨てをしない文化をもつ現地の人々の生活にも合っています。

マスクを作ってくくださった方、マスクを運んでくださった方、手

から手へ贈られる皆様の思いで支援が成り立っていることをJELAスタッフ一同感じています。手作りマスクにご協力下さった皆様、本当にありがとうございました。



▲Kandal村のルーテル教会施設にて

第19回 JELA世界の子ども支援チャリティコンサート 3年ぶりに会場で開催しました!

ヴァイオリンとピアノによるコンサート
出演：真野 謠子 (ヴァイオリン) 前田 勝則 (ピアノ)



2022年10月30日(日) 日本福音ルーテル市ヶ谷教会 来場者:63名



2022年11月26日(土) 日本福音ルーテルむさしの教会 来場者:57名

ゴスペル・コンサート

出演：MARISA (ボーカル) 山本裕太 (ピアノ) 深栖絵美 (ベース)



2022年12月10日(土) JELAミッションセンター 1Fホール 来場者:50名

JELAは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中断していた会場でのチャリティコンサートを3年ぶりに再開しました。第19回となる「JELA世界の子ども支援チャリティコンサート」は、東京都内の2つのルーテル教会とJELAミッションセンター・ホールを会場として3公演が開催され、ご来場者は延べ170名、会場での寄付金は合計192,500円となりました。

会場にお集まりいただいた皆様、寄付金を捧げてくださった皆様、会場でお手伝いくださった皆様、心より御礼申し上げます。

ヴァイオリニストの真野謠子さんは、2016年から2019年まで4年連続で出演され、今回が5回目の登場でした。ピアニストの前田勝則さんは2016年のチャリティコンサートに真野さんと共に出演して下さっていて、2度目のデュオ出演となりました。市ヶ谷教会、むさしの教会に芸術の秋に相応しいクラシックの調べを届けてくださいました。

東京都渋谷区のJELAミッションセンター・ホールでは、いずれも初登場のゴスペルシンガーのMARISAさん、ピアノの山本裕太さん、ベースの深栖絵美さんのトリオが、クリスマスナンバーを含むエネルギッシュなゴスペルを披露してくださいました。

素晴らしいパフォーマンスを披露くださった、真野さん、前田さん、MARISAさん、山本さん、深栖さん、ありがとうございました!

当チャリティコンサートの開催にあたり、協賛団体として次の企業様をご支援くださいました。心より御礼申し上げます。

- ◇ 有限会社 小川装建
- ◇ 三井不動産リアルティ株式会社
- ◇ シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
- ◇ 野村證券株式会社
- ◇ 西村建築設計事務所
- ◇ ノバリ株式会社
- ◇ 株式会社マイスターエンジニアリング

特集：難民支援奨学金

JELA の難民支援事業では、日本に住む難民のために、「JELA フィロクセニア奨学金」と「難民専門学校教育プログラム (RVEP)」という2つの奨学金プログラムを実施しています。JELA フィロクセニア奨学金は、難民や難民認定申請中の方が対象となる奨学金です。RVEP は、JELA と国連難民高等弁務官駐日事務所 (UNHCR) と共同で、難民の背景を持ち日本に在住する方を対象とした専門学校就学支援 (奨学金) 事業です。

寂しさを抱えても前へ 勉学に励むRVEP奨学生ナクワンさん

シリア出身の難民で、RVEPの奨学生として学ぶナクワンさんから、日本で学びや生活、母国シリアへの思いについてご寄稿いただきました。



私は難民専門学校教育プログラム (RVEP) の支援により、大阪にある日本分析化学専門学校で薬学を学んでいます。学校の授業は専門的で実験も多く、苦勞している部分もありますが、楽しいことの方が多く感じています。試薬調整をしていて、いい結果が得られると成功と達成感があります。

シリアの学校には、文化祭やスポーツ大会はありませんでした。それらの活動は、私にとってとても新鮮で参加できてよかったと思います。特にスポーツ大会では、選手として参加しただけでなくアナウンサーも経験できました。

大会当日は、気が高ぶりました。友達と元気に一日中競い、熱い気持ちで参加しました。残念ながら、優勝を逃してしまいましたが、優勝より大切なこと、友達と元気でいい時間を過ごすことが一番大事だということを改めて思いました。

大会では、「一番輝いた学生」が発表されるのですが、まさか自分の名前が呼ばれるとは思ってもみませんでした。大変びっくりしました。久しぶりに子供の時のように全力で走ったり応援したりしたことは、忘れられない思い出となりました。

学校で学ぶかわら、アルバイトもしています。それ以外の時間は、趣味の折り紙と登山をしています。日本の山は自然が豊かで綺麗なため、全国の山を巡りたいと思います。もちろん故郷のシリアにも自然や観光名所は多く



実習に取り組むナクワンさん (© UNHCR)

ありましたが、私が大学に入学して間もなく戦争が起きてしまい、それらの多くを見ることなく故郷を離れることになりました。

この先、私はしばらく日本に残ると思います。シリアを離れてから今まで色々な所に住みました。お世話になった方々やいい思い出もありますが、長くその場に居られなかったことが残念です。今までで一番大変だったのは、寂しさです。長い縁が持てなかったことです。ですので、家庭を持てるといいのかも知れません。

いつかシリアにも平和が戻り、人々が安心して生活できるようになって欲しいです。今、私は日本企業への就職を目指して頑張っています。



UNHCR駐日事務所が制作したナクワンさんの動画やウェブストーリーが公開されています。ぜひご覧ください。

YouTube

日本の専門学校で学ぶシリア人学生
分析化学の道を進みたい
(「UNHCR Japan」チャンネル)



ウェブストーリー

日本唯一の分析化学の専門学校で学ぶ
シリアからつながった未来への道
(「UNHCR Japan」ウェブサイト)



「難民奨学生のつどい」 をはじめて開催

3月4日、今年からの難民奨学生となる方や現在奨学金を受給中の方などをJELA ミッションセンターホールにお招きして、「JELA 難民奨学生のつどい」を開催しました。JELAの難民奨学生が一堂に会する催しは今回が初めてとなります。

今回の催しには、15名の奨学生に加え、JELAと難民支援で協力してくださっている政府機関や支援団体の方々もご出席くださいました。

今年JELAは、厳正な選考の結果、4名の方を奨学生に迎えることとなりました。新たにJELAの奨学生となる4名へ古屋四朗理事長から「奨学生認定証」が手渡されました。

また、奨学生で優秀な成績を取った方へは、「最優秀奨学生賞」の授与も行われました。参加した奨学生からは、「私も最優秀賞学生に選ばれるように勉強を頑張りたいです」などの声も聞かれました。



「最優秀奨学生賞」授与の様子

難民奨学生募集のご案内

「JELA フィロクセニア奨学金」と「難民専門学校教育プログラム (RVEP)」は、いずれも4月から2024年度奨学生の募集を開始しています。詳しくはJELAウェブサイト (www.jela.or.jp) で。

板橋JELAハウス 新しい管理人を迎えて再開しました！

JELAが難民や難民認定申請中の方々に無償で提供している難民シェルター「JELAハウス」は都内に2棟あります。板橋区にある「板橋JELAハウス」は、新型コロナウイルスの影響で、2022年はアフガニスタンの2家族を受け入れるにとどまりましたが、今年2月16日に新しい管理人を迎え、難民 (申請者を含む) の単身女性または母子のための専用シェルターとしての通常運営を再開し、

1人目の入居者をお迎えしました。日本国内の難民支援において、女性 (母子) 専用のシェルターはまだ数が少なく、運営には知恵や他団体との連携が必要です。難民支援関係各所と力を合わせて、シェルターを必要とする方々に届く支援を成功させたく思っています。

JELAの難民支援へのお祈りとご支援をよろしくお願いたします。

板橋JELAハウス▶



キャロル・サック宣教師「詩編との出会い」を配信中 全国から喜びの声

2022年12月末に、リラ・プレカリア (祈りのたて琴) ディレクターのキャロル・サック宣教師 (米国福音ルーテル教会) による動画「詩編との出会い」をYouTube (ユーチューブ) に公開しました。

年明けから、「このような動画を待っていました」「興味のある内容だったので視聴できてよかった」「詩編について理解できた」「人生の浮き沈みについて考えさせられた」など、多くの方から反響をいただいています。

「詩編との出会い」は、2018年に米国のウィスコンシン州ショーノーにあるシオン・ルーテル教会 (ELCA) から支援を受けて開始した1日修養会プログラムです。当初は、1年に10か所ほど会場を選び、3年に渡って全国各地の教会等で修養会を開催する計画でした。しかし、コロナ禍の影響により会場での修養会の実施が困難となる中、JELAとキャロル宣教師は、今こそ祈りや心の癒やしが必要とされていると感じ、一人でも多くの方に修養会の内容をお届けするために、シオン・ルーテル教会の許可を得て、同プログラムの動画制作に踏み切りました。

動画は、3つのパートから構成されています。第1部は、パストラル・ハーブやリラ・プレカリアが誕生した経緯や、聖書の詩編が人生の3つの季節 (順境・逆境・新境地) にどのようなヒントを与えるかについての講義です。

第2部では、終末期にある人にキャロル宣教師が歌とハーブによる祈りを届けた実話を通して、キリストの愛に生きる奉仕者としての視点を学ぶことができます。

第3部には、1部と2部で語られたことを結びつける、ハーブと歌による祈りの礼拝が収録されています。

この動画の企画は2021年秋に開始されましたが、動画の編集作業や日本語字幕の作成に想像以上の時間を要したため、多くの方に公開をお待ち頂くこととなりました。全国から反響をいただき、キャロル宣教師や撮影・編集に携わったJELAスタッフも報われた思いであります。

動画は、JELAの公式YouTubeチャンネルにて全編無料で公開されています。詩篇を通して、「死」という誰もが必ず迎えるものについて、聖書的視点を紹介する動画です。ぜひご覧ください。



【動画を視聴するには】
YouTubeで

JELA 詩編 と検索

またはQRコード読み込み



2022年度 寄付金のご報告と御礼

いつもJELAの公益事業をおぼえ、尊いお祈りとご寄付を頂き誠にありがとうございます。皆様から頂きました寄付金についてご報告申し上げます。

2022年度に頂いた寄付金 … 合計12,403,498円

[内訳]

世界の子ども支援 7,474,540円
(ソーラーランタン1050台の物品寄付を含む)

奉仕者育成 391,000円

難民支援 2,673,000円

緊急災害支援 99,464円

一般支援金・サポーター寄付金 1,765,494円

2022年度、JELAは皆様からのご寄付に弊財団からの支出を加え、以下の事業を行いました。

- ・ コルカタ貧困地域の女兒救済支援 (インド)
- ・ 学校建築支援 (カンボジア)
- ・ パナソニック ホールディングス株式会社と協働しソーラーランタン送付 (カンボジア)
- ・ チャリティコンサート運営 (オンライン・都内3か所)
- ・ 次世代リーダー育成のための給付型奨学金支給 (日本)
- ・ 難民対象奨学金支給 (日本)
- ・ 難民シェルター運営 (日本・都内2か所)
- ・ ワークキャンプ運営 (日本)
- ・ オンラインスタディツアー運営 (インド)
- ・ 学校教育助成 (日本)
- ・ 教会リトリート「詩編との出会い」動画制作 (日本)
- ・ ウクライナ難民支援 (ウクライナ・イタリア)
- ・ ジャワ島西部地震復興支援 (インドネシア)

※2022年度に頂きましたご寄付のうち、154,532円(世界の子ども支援)は来年度へ繰越となります。2023年以降実施する事業において大切に用いさせていただきます。

JELAの事業内容をより充実させ、継続的な支援を可能にするために、2023年も皆様のお祈り・ご寄付によるご支援をよろしくお願いいたします。

JELAを
継続的に支える
JELAサポーター
を求めています!

年1,000円から! クレジットカードによる
自動定期寄付プログラムです。



詳しくは で検索

一般財団法人
JELA
キリストの愛で隣人に仕える

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-26
Tel: 03-3447-1521 Fax: 03-3447-1523
https://www.jela.or.jp/ jela@jela.or.jp

寄付金のご送金先:
ゆうちょ銀行 口座番号: 00140-0-669206 (加入者名: 一般財団法人JELA)
三井住友銀行 飯田橋支店 普通2896506 (口座名義: イッパソグタノホジツエ)

支援者一覧

(2022年10月1日~2023年2月28日)

(順不同・敬称略)

青木孝士/秋吉英理子/渥美千鶴子/尼嶋治/荒川朋子/安藤淑子/池田哲也/石田宏美/泉亮/一橋満留/井藤育子/井上新/井上秀樹/今井早苗/岩越優子/太田泰子/勝部久子/加藤俊輔/神谷智子/亀川榮一/北川勝弘/京谷信代/グレイ恵子/小坂敦子/小助川節子/小松由美/小宮俊作/佐野友美/島宗正見/新角房子/高良研一/武井順太郎/竹渕三和子/立山久美子/田中栄子/田中美紗子/田中俊子/千葉ちづ子/塚田政司/辻裕子/土屋瑞枝/中野満子/中山純郎/那須幸/西垣親子/西平薫/西立野園子/野上きよみ/野口久志/芳賀直哉・美江/原口恵子/兵藤真里子/福嶋知恵子/福地明子/瀨田康徳/古屋四朗/藤井たかね/保坂和子/聖望学園マケル・ビ・スカー/前川隆一/松岡俊一郎/三宅洗子/村上貞子/村上裕子/村木直樹/森保宏/森田哲史/八坂由貴子/安みぎわ/安田やまと/山県順子/山極百代/山田美美子/山之内正俊/山本了/米山和利/和田八重子/渡辺聡/青山学院大学系属浦和ルーテル学院小中高等学校/九州学院みどり幼稚園/クリスチャン・リエワ・ミニストリア/グレイ合唱団/小城ルーテルこども園/学佐賀ルーテル学園唐津ルーテルこども園/認定こども園玉名ルーテル幼稚園/奈多愛育園/バニヤホーム/リバイバル・ジェネレーション/認定こども園ルーテル学院幼稚園/日本基督教団鳴子教会/日本ルーテル教団飯能ルーテル教会/NASIC(全聖徒キリスト教会)/JELC大分教会/JELC大岡山教会学校/JELC蒲田教会女性の会/JELC久留米教会/JELC玉名教会/JELC博多教会/JELC保谷教会

ご支援ありがとうございます。

匿名をご希望の場合は、ご送金の際にお知らせ下さい。

編集後記

JELAのロゴには「キリストの愛で隣人に仕える」という言葉が添えられています。JELAは、日本国内では難民の隣人として、国外ではカンボジア、インドの子どもたちの隣人として仕えられるように、またそのような思いと働きに仕える人を育てるために、日々努力する団体です。では、「キリストの愛で」の部分は団体の働きにどのように表れてくるのか。そもそも「キリストの愛」とは。信頼できる仲間と一晩中語り明かせそうなテーマではありませんか。今年のイースターの週は、フィリピの信徒への手紙2章を読みながら、十字架は人類を罪から解放し「すべての舌が『イエス・キリストは主である』と公に宣べて、父なる神をたたえる」ために神がご計画されたことで、キリストの愛とはキリストがその十字架の死にまで従ったことであることを黙想していました。誰のために。私のためであり、あなたのためであり、私たちの隣人のためにです。そのことを私たちの存在によって、言葉によって、温もりによって伝えること、そうしたキリストの願いがロゴに、出版物に、何より働きに表れることを、誇りに思うべきであると日々思っています。(渡辺薫)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

JELAは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。